

## 試験研究業績（外部刊行物への発表）平成19年度

## 海洋環境部門

Distribution and growth of juvenile chum salmon in the Abashiri Bay, western Hokkaido, in relation to sea surface temperature：宮腰靖之，藤原 真，安藤大成（水産孵化場），嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），浅見大樹（稚内水試），永田光博（水産孵化場道東支場） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Technical Report 7, 21-22, 2007.4

Distribution and growth of juvenile pink salmon in the coastal waters of eastern Hokkaido determined with otolith-marking：藤原 真，宮腰靖之，安藤大成（水産孵化場），嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），浅見大樹（稚内水試），永田光博（水産孵化場道東支場） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Technical Report 7, 37-39, 2007.4

Seasonal and annual changes of oceanographic condition during early ocean life of chum salmon in the coastal waters of Okhotsk Sea, eastern Hokkaido：澤田真由美，嶋田 宏（中央水試），浅見大樹（稚内水試），佐藤 一（栽培水試），宮腰靖之，安藤大成，藤原 真（水産孵化場），永田光博（水産孵化場道東支場） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Technical Report 7, 75-77, 2007.4

Influence of physical parameters on zooplankton variability during early ocean life of juvenile chum salmon in the coastal waters of eastern Hokkaido, Okhotsk Sea：浅見大樹（稚内水試），嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），佐藤 一（栽培水試），宮腰靖之，安藤大成，藤原 真（水産孵化場），永田光博（水産孵化場道東支場） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Bulletin No.4, 211-221, 2007.4

Influence of coastal seawater temperature on the distribution and growth of juvenile chum salmon, with recommendations for altered release strategies：永田光博（水産孵化場道東支場），宮腰靖之，安藤大成，藤原 真（水産孵化場），澤田真由美，嶋田 宏（中央水試），浅見大樹（稚内水試） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Bulletin No.4, 223-235, 2007.4

A shift in pink salmon dominance in the Okhotsk Sea of Hokkaido in relation to coastal environments during early sea life：永田光博（水産孵化場道東支場），安藤大成，藤原 真，宮腰靖之（水産孵化場），澤田真由美，嶋田 宏（中央水試），浅見大樹（稚内水試） NPAFC（北太平洋遼河性魚類委員会） Bulletin No.4, 237-249, 2007.4

Occurrence and detrimental effects of the bivalve-inhabiting hydroid *Eutima japonica* on juveniles of the Japanese scallop *Mizuhopecten yessoensis* in Funka Bay, Japan：relationship to juvenile massive mortality in 2003：Baba, K.（函館水試），Miyazono, A.（中央水試），Matsuyama, K., Kohono, S., Kubota, S. Marie Biology 151, 1977-1987, 2007.6

北海道噴火湾の底泥における有毒渦鞭毛藻 *Alexandrium* spp. シストの鉛直分布：宮園 章（中央水試），仁科健二（道立地質研） 日本プランクトン学会報, 54(2), 85-91, 2007.8

夏季北海道オホーツク海沿岸における *Alexandrium tamarense* を含んだ沖合表層水の輸送機構：嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），浅見大樹（稚内水試），田中伊織（中央水試），深町 康（北大低温研） 2007年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 145, 2007.9

オホーツク海における海鳥分布と衛星で観測されたクロロフィル a・海面水温の関係：濱原和広，長 雄一，高柳志朗（稚内水試），斉藤誠一 2007年度日本海洋学会秋季大会, 2007.9

春季のオホーツク海の極く沿岸域におけるオキアミの卵および幼生の消長：浅見大樹（稚内水試），嶋田 宏，澤田真

由美（中央水試）、佐藤 一（栽培水試）、岩渕雅輝、安藤大成、宮腰靖之（水産孵化場）、永田光博（水産孵化場道東支場） 2007年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会講演要旨集, 185, 2007.9

養殖ホタテガイ付着物から検出された下痢性貝毒について：伊藤貴行、小泉駿介（京都大）、高坂祐樹（青森増養研）、馬場勝寿（函館水試）、宮園 章（中央水試）、今井一郎（京都大学） 2007年度水産海洋学会講演要旨集, 2007.11

ホタテガイ *Mizuhopecten yessoensis* 稚貝のトリグリセライド含有量と干出ストレス耐性との関係：宮園 章（中央水試）日本水産学会誌, 73(6), 1109-1111, 2007.11

【道南のいきもの】ホタテガイ：宮園 章（中央水試） Oshimanography, 14, 29-30, 2007.11

北海道渡島半島西岸を南下して津軽海峡に流入する流れ(3)：田中伊織、澤田真由美、中多章文（中央水試） 日本海沿岸域における海況モニタリングと波浪計測に関する研究集会研究報告, 124-138, 九州大学応用力学研究所, 2007.12

北海道噴火湾における *Dinophysis* 属の消長および下痢性貝毒・脂溶性貝毒成分含有量の経時・経年変化(短報)：宮園 章（中央水試）、鈴木敏之（東北水研）、馬場勝寿、菅原理恵子（函館水試） 日本プランクトン学会報, 55(1), 25-28, 2008.1

水産海洋地域研究集会 第38回北洋研究シンポジウム 近年の噴火湾における海洋環境と漁業資源の変動 ホタテガイ生産の変動 8.ホタテガイ養殖漁業の変化：宮園 章（中央水試） 水産海洋研究, 72, 46-47, 2008.2

噴火湾のホタテガイ養殖における採苗の豊凶と環境および母貝の成長不良の関係：馬場勝寿(函館水試) 水産海洋研究, 72, 48-49, 2008.2

宗谷暖流を横切って沖合の有毒プランクトンを沿岸域に輸送する一つのメカニズムのアイデアを補強しそうなデータ(2)：田中伊織、宮園 章、西田芳則（中央水試）、深町 康（北大低温研） 衛星観測システムの海洋生態系研究及び水産業の利用のための基盤技術に関する共同研究 平成19年度共同研究発表会成果報告書, 16-23, 水産総合研究センター・宇宙航空研究開発機構, 2008.3

Seasonal variation of the oceanic state in the sea to the east of Hokkaido (II)：永田 豊（MIRC（日本水路協会海洋情報研究センター））、小熊幸子（北水研）、相川公洋、長瀬桂一（根室市水産研）、田中伊織、中多章文（中央水試）、夏目雅史（釧路水試） Proceedings of the 23rd International Symposium on Okhotsk Sea and Sea Ice, 75-78, 2008.2

道東海域の海況の季節変化（II）：永田 豊（MIRC（日本水路協会海洋情報研究センター））、小熊幸子（北水研）、相川公洋、長瀬桂一（根室市水産研）、田中伊織、中多章文（中央水試）、夏目雅史（釧路水試） 2007年度「第6回ハナサキ・プログラム・ワークショップ」開催報告書, 18-27, 2008.3

Seasonal variation of the oceanic state in the sea to the east of Hokkaido (II)：永田 豊（MIRC（日本水路協会海洋情報研究センター））、小熊幸子（北水研）、相川公洋、長瀬桂一（根室市水産研）、田中伊織、中多章文（中央水試）、夏目雅史（釧路水試） Proceedings of SakhNIRO/Nemuro Joint Workshop for Report and Discussion on Progress in FY 2007 and Future Plan of Joint Study on Hanasaki Crab, 19-30, 2008.3

北海道南西部日本海における無機栄養塩およびクロロフィル a 濃度の中長期変動：栗林貴範、嶋田 宏、澤田真由美、田中伊織（中央水試） 2008年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 159, 2008.3

2007-08年における噴火湾底質の季節変化：奥村裕弥、赤池章一（函館水試）、宮園 章（中央水試）、工藤 勲、磯田

豊 2008年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 208, 2008.3

夏季北海道オホーツク海沿岸における麻痺性貝毒発生予測の試み：嶋田 宏，澤田真由美（中央水試），浅見大樹（稚内水試），田中伊織（中央水試），深町 康（北大低温研） 2008年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 291, 2008.3（ポスター発表）

定期海洋観測19年間（1989-2007）の水温・塩分トレンドからみた北海道周辺の海況特性：宮園 章，西田芳則，田中伊織（中央水試） 2008年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 316, 2008.3（ポスター発表）

北海道檜山海域におけるスケトウダラ産卵適水温帯および漁獲深度の年変動：渡野邊雅道（函館水試），武藤卓志（原子力環境センター） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 17, 2008.3

北海道オホーツク海沿岸における麻痺性貝毒発生予測の試み：嶋田 宏，澤田真由美，田中伊織（中央水試），浅見大樹（稚内水試），深町 康（北大低温研） 平成19年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議海区水産業部会・分科会報告書, 44-45, 東北区水産研究所, 2008.3

#### 資源管理部門

近年，急激に増加した日本海ニシン資源と環境変動：石田良太郎（釧路水試），高柳志朗（稚内水試），田中伊織，石野健吾，瀧谷明朗（中央水試），渡辺良朗（東大海洋研） 水産海洋学研究, 71(2), 147-149, 2007.5

耳石微量成分分析によって推定されたワカサギの多様な回遊パターン（英文）：片山知史（中央水研），猿渡敏郎（東大海洋研），木村和彦（宮城大），山口幹人（中央水試），佐々木 剛（東京海洋大），虎尾 充（道庁孵化場道東支場），藤岡 崇（函館水試），岡田のぞみ（稚内水試） 水産海洋研究, 71(3), 175-182, 2007.8

網口サイズと曳網速度による採集効率の変動：板谷和彦（中央水試） 日本水産学会誌 73(5), 929-930, 2007.9

計量魚群探知機による冬季の北海道東部太平洋海域におけるスケトウダラ *Theragra chalcogramma* 未成魚の分布：志田修（栽培水試），三宅博哉，金田友紀（中央水試），石田良太郎（釧路水試），宮下和士（北大フィールドセンター） 日本水産学会誌, 74(2), 152-160, 2008.3

知床世界遺産一海を守る漁業を考える：桜井泰憲，帰山雅秀（北大院水），石田良太郎（釧路水試） 日本水産学会誌, 74(2), 290, 2008.3

Effect of towing speed and net mouth size on catch efficiency in framed midwater trawls：板谷和彦（中央水試），藤森康澄，清水 晋（北大院水），小松輝久（東大海洋研），三浦汀介（北大院水） Fisheries Science 73(5), 1007-1016, 2007.10

Effects of sampling errors on abundance estimates from virtual population analysis for walleye pollock in northern waters of Sea of Japan：山口宏史（中央水試），松石 隆（北大水） Fisheries Science 73(5) 1061-1069, 2007.10

スケトウダラ日本海系群一仔稚魚に対する計量魚探を用いた資源調査－：板谷和彦（中央水試） 水産海洋学会誌 71(4), 283-284, 2007.11

プランクトンとマイクロネクトンの同時採集のためのズボン式フレームトローラー小目合網地によるオキアミ類のサイズ選択性－：藤森康澄，山下由起子，阿部真之（北大院水），板谷和彦（中央水試），向井 徹（北大院水） 水産工

学, 44(3), 197-204, 2007.11

ハンディ GPS プロッタを用いたミズダコ資源分布図の作製の試み：佐野 稔(稚内水試), 坂東忠男 海洋水産エンジニアリング, 2007(10), 15-21, 2007.

Genetic Variation and Population Structure of Hair Crab (*Erimacrus isenbeckii*) in Japan Inferred from Mitochondrial DNA Sequence Analysis：東 典子(北大院水), 國廣靖志(函館水試), 佐々木潤(栽培水試), 安永倫明(釧路水試), 三原栄次(稚内水試), 三原行雄(中央水試), 陳 徳姫(江陵生命科学大), 阿部周一(北大院水) Marine Biotechnology, 10(1), 39-48, 2008

Revision of the Cottid Genus *Astrocottus* Bolin (Perciformes : Cottoidei), with the Description of a New Species from Northern Japan : Osamu Tsuruoka (北大院水), Shuka Maruyama (釧路水試), Mamoru Yabe (北大院水) Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. A, Suppl. 2, 25-37, 2008, 03

採捕試料を用いた食性解析：後藤陽子(釧路水試) トド資源調査事業報告書 独立行政法人水産総合研究センター平成18年度水産庁委託事業 国際資源調査等推進対策事業, 57-77, 2007.9

漁船の航跡データを用いたミズダコ資源分布図の作成の試み：佐野 稔(稚内水試) 第12回ベルーガ会議, 2007.8

ミトコンドリア DNA CO1によるケガニの集団遺伝学的解析：東 典子(北大院水), 國廣靖志(函館水試), 佐々木潤(栽培水試), 安永倫明(釧路水試), 三原栄次(稚内水試), 三原行雄(中央水試), 陳 徳姫(江陵生命科学大), 阿部周一(北大院水) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 12, 2007.9

雌雄で成長差のある魚類に対する資源解析と評価—ソウハチ北海道北部系群—：板谷和彦, 山口宏史(中央水試), 山口浩志(稚内水試), 松石 隆(北大院水) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 20, 2007.9

ハタハタ刺網の網目選択性を用いた漁獲物の年齢別雌雄比の評価：若山賢一, 藤森康澄(北大院水), 石田良太郎, 平野和夫(釧路水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 20, 2007.9

石狩湾系ニシンにおける初回産卵年齢の成熟割合年変化：高柳志朗(稚内水試), 石田良太郎(釧路水試), 山口幹人(中央水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 21, 2007.9

1982年から2006年までの宗谷海峡におけるミズダコの資源変動：佐野 稔(稚内水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 152, 2007.9

北海道北部産マガレイの耳石輪紋径に基づく「育ち群」判別：4歳までの「育ち群」の分布と成長：岡田のぞみ(稚内水試), 板谷和彦(中央水試), 室岡瑞恵, 城 幹昌(網走水試), 下田和孝(道庁孵化場) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 158, 2007.9

日本水産学会水産環境保委員会研究会・ミニシンポジウム 「海を守り, 食を保障する持続的漁業—海洋保護区と自主管理型漁業」 知床世界遺産—海を守る漁業を考える：桜井泰憲, 帰山雅秀(北大院水), 石田良太郎(釧路水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 234, 2007.9

GIS を用いた宗谷海峡の漁場利用図の作成：佐野 稔(稚内水試) 北海道 GIS データベース研究会, 2007.11

漁期中の大型サンマの太り具合：夏目雅史(中央水試) 第56回サンマ等小型浮魚資源研究会議報告, 162-165, 2008.2

北海道における資源管理の現状と問題点：鳥澤 雅（中央水試） 第39回北洋シンポジウム 水産資源サステナビリティ学と海洋生態系，9，2008.3

日本海，根室海峡におけるスケトウダラの資源変動と環境変動：石田良太郎（釧路水試），三宅博哉（中央水試），八吹圭三（北水研） 北洋研究シンポジウム 水産資源サステナビリティと海洋生態系要旨集，10，2008.3

道西日本海におけるホッケ雌の成熟率：高嶋孝寛，星野 昇，板谷和彦，三橋正基（中央水試） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，8，2008.3

底魚類の捕食に由来するスケトウダラ着底後幼魚自然死亡量の推定：山村織生，小岡孝治，本田 聡（北水研），石田良太郎（釧路水試） 平成20年度日本水産学会春期大会講演要旨集，39，2008.3

北海道オホーツク海沿岸におけるケガニの成長：三原栄次（稚内水試），田中伸幸（網走水試），三原行雄（中央水試），西内修一（網走水試） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，219，2008.3

2006年に北海道太平洋沿岸に来遊したスルメイカの発生時期：佐藤 充（中央水試），坂口健司（釧路水試），澤村正幸（函館水試） イカ類資源研究会議報告（平成19年度），40-43，2008.3

平成19年度資源動向要因分析調査課題報告書（小課題） 1060 資源動向要因分析調査 スケトウダラ太平洋系群 道東養育場におけるスケトウダラ稚魚・幼魚の分布と餌料環境：西村 明，平川和正（北水研），石田良太郎（釧路水試），宮下和士（北大フィールドセンター） 平成19年度資源動向要因分析調査報告書，14-15，2008.3

#### 資源増殖部門

Interannual variability in hatching period and early growth of juvenile walleye pollock, *Theragra chalcogramma*, in the Pacific coastal area of Hokkaido：志田 修（栽培水試）他4名 Fisheries Oceanography16(3)，229-239，2007.4

Interannual fluctuations in recruitment of walleye pollock in the Oyashio region related to environmental change：志田修（栽培水試）他6名 Deep-Sea Research II 54，2822-2831，2007.10

北海道噴火湾に放流されたマツカワ0歳魚の分布と食性：吉田秀嗣（函館水試），高谷義幸，松田泰平（栽培水試）栽培漁業技術開発研究 35(1)，5-10，2007.10

北海道余市湾で2006年8月に放流した人工種苗ヒラメの放流サイズの生残と成長：石野健吾，瀧谷明朗（中央水試）平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，170，2007.9

エゾアワビ放流種苗の再生産効果について：干川 裕，高橋和寛，津田藤典，金田友紀（中央水試），原 素之（養殖研） 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，37，2007.9

石川県の砂浜海岸に生息する2種のオフエリアゴカイ：川原 英（石川県潮間帯研究会），美坂 正（釧路水試），坂井恵一（のと海洋ふれあいセンター）のと海洋ふれあいセンターだより能登の海中林 NO.27，5-6，2007.10

北海道・東北海域（種多様性の低い海域）の音響モニタリング 1 スケトウダラ太平洋系群：志田 修（栽培水試）水産海洋研究 71(4)，282-283，2007.11

Genetic variation and population structure of hair crab (*Erimacrus isenbeckii*) in Japan inferred from mitochondrial DNA sequence analysis: 國廣靖志, 佐々木潤 (栽培水試) 他6名 Marine Biotechnology 10(1), 39-48, 2008.1

ナマコ放流技術の現状と課題: 赤池章一, 吉田秀嗣 (函館水試) 平成19年度育てる漁業研究会「ナマコの栽培漁業について」講演要旨集, 41-51, 2008.1

D~EステージにおけるマガレイのDHA要求量: 佐藤敦一, 高谷義幸 (栽培水試) 他1名 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集 120, 2008.3

北海道のアワビ放流漁場における人工種苗の再生産評価: 原素之 (養殖研), 干川裕 (中央水試) 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 153, 2008.3

航空写真がとらえた藻場の変遷: 赤池章一, 吉田秀嗣 (函館水試), 川井唯史 (稚内水試), 秋野秀樹 (原子力環境センター), 八木宏樹, 富山優 磯焼け対策全国協議会シンポジウム「藻場を見守り育てる知恵と技術」講演要旨集, 4, 2008.3

#### 水産工学部門

NORTHWARD EXTENSION OF GEOGRAPHIC RANGE OF THE SEA URCHIN *HEMICENTROTUS PULCHERRIMUS* IN HOKKAIDO, JAPAN: 吾妻行雄 (東北大院), 干川裕 (中央水試) Journal of Shellfish Research, 26(2), 629-635, 2007.

河口域に流下した落葉が海産ヨコエビ *Anisogammarus pugettensis* に果たす役割 (英文): 河内香織 (埼玉大院), 櫻井泉 (中央水試), 柳井清治 (道工大) 水産海洋研究, 71(4), 255-262, 2007.

魚類分布の定量的表現による魚礁の効果範囲の推定と考察: 山内繁樹 (中央水試), 峰寛明 ((株)エコニクス), 櫻井泉, 金田友紀 (中央水試), 横山善勝 (前中央水試) 水産工学, 44(3), 175-183, 2008.

人工海底マウンド漁場における魚礁効果の算定方法について: 峰寛明 ((株)エコニクス), 山内繁樹 (中央水試), 横山善勝 (前中央水試), 櫻井泉 (中央水試), 藤井淳夫 ((株)エコニクス) 海洋開発論文集 第23巻 369-374, 2007.

ホタテ貝殻を活用したホタテ地まき漁場造成について: 吉野真史, 伊藤靖, 酒向章哲 ((財)漁港漁場漁村技術研), 櫻井泉 (中央水試), 西田芳則 (稚内水試), 新山伸二 (水産庁) 海洋開発論文集 第23巻 943-948, 2007.

石油精製副産物である硫黄を活用した水産増殖資材 (レコサル藻礁) についての評価: 武田史絵, 村上俊哉 ((株)エコニクス), 太田義高 (新日本石油(株)), 櫻井泉 (中央水試), 山本潤 (寒地土木研), 山下成治 (北大院) 海洋開発論文集 第23巻 441-446, 2007.

北海道における単位魚礁の構造別漁獲試験結果に基づく蝸集魚類の主成分分析: 山内繁樹 (中央水試), 峰寛明 ((株)エコニクス), 金田友紀 (中央水試), 横山善勝 (前中央水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 111, 2007.9

振動流下におけるキタムラサキウニの密度とコンブ摂食量の関係: 金田友紀, 干川裕, 櫻井泉, 山内繁樹 (中央水試) 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 246, 2007.9

アワビ *Haliotis discus* における分集団構造：原 素之（養殖研），中林信康（秋田県水産振興センター），廣瀬 充（福島県水試），小坂善信（青森県水研センター），松橋 聡（青森県栽培センター），干川 裕（中央水試），菅谷琢磨（養殖研），関野正志（東北区水研），池田 実（東北大院農）平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，38，2007.9

増殖礁の石材の凹凸がキタムラサキウニの摂餌に与える影響：金田友紀，干川 裕（中央水試）平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，178，2008.3

底生藻類をアサリの餌料として供給する技術の開発：福田裕毅，櫻井 泉，中山威尉（中央水試）平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，167，2008.3

エゾアワビの成熟過程におけるピテロジェニン mRNA 量の変動：松本才絵，山野恵祐（養殖研），干川 裕（中央水試）平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，225，2008.3

振動流下でのマナマコ人工種苗の付着力：中島幹二，合田浩朗（稚内水試），櫻井 泉（中央水試）平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，249，2008.3

人工魚礁における魚類分布の定量表現による魚礁の効果範囲の推定：山内繁樹（中央水試），峰 寛明（(株)エコニクス），横山善勝（前 中央水試），金田友紀（中央水試）平成19年度日本水産工学会学術講演会講演論文集，179-182，2007.

漁獲効率と魚類の生態を考慮した，人工魚礁の蝸集効果の算定方法についての一考察：峰 寛明（(株)エコニクス），山内繁樹，櫻井 泉（中央水試），横山善勝（前 中央水試）平成19年度日本水産工学会学術講演会講演論文集，183-186，2007.

人工海底マウンド漁場整備における総合的建設事業コストの算定について：東 健一（(株)アッシュクリート），清田 健（(株)エコニクス），古屋温美（(有)マリンプラニング），山内繁樹（中央水試），浅川典敬（水産庁），長野 章（はこだて未来大学）平成19年度日本水産工学会学術講演会講演論文集，195-198，2007.

貝殻を利用した漁場造成技術開発試験～流れに対する貝殻の安定性評価～：櫻井 泉（中央水試），酒向章哲（(株)アルファ水工），伊藤 靖（(財)漁港漁場漁村技術研）平成19年度日本水産工学会学術講演会講演論文集，109-112，2007.

エゾアワビ放流種苗の再生産への貢献：干川 裕（中央水試）東京大学海洋研究所共同利用研究集会「アワビ類栽培漁業の検証と今後の展望」

流速データが語る藻場の分布：金田友紀（中央水試）磯焼け対策全国協議会シンポジウム「藻場を見守り育てる知恵と技術」

海底パイプラインから生じる振動がケガニ・マガレイに与える影響：福田裕毅（中央水試）第11回北日本ベントス談話会

#### 加工利用部門

2軸型エクストルーダーを用いたスケトウダラすり身の組織化：北川雅彦，飯田訓之（釧路水試），佐伯宏樹（北大院水）日本水産学会誌，73(5)，905-915，2007.5

皮および骨を含む魚肉のエクストルージョン・クッキングによる組織化と加工過程におけるアミノ酸および脂肪酸組

成の変化：北川雅彦，飯田訓之，信太茂春（釧路水試），岸村栄毅，佐伯宏樹（北大院水） 日本水産学会誌，74(1)，55-60，2008.1

Feasibility Study on the Water Solubilization of Spawned out Salmon Meat by Conjugation with Alginate Oligosaccharide. : HIROFUMI TAKEDA, TOSHIYUKI IIDA（釧路水試），AKIRA OKADA, HAYATO OTSUKA, TOSHIO OHSHITA, ERI MASUTANI, SHIGERU KATAYAMA AND HIROKI SAEKI Fisheries Sci., 73(4)，924-930，2007.8

ウニの高品質化と衛生管理による安全供給技術の開発：三上加奈子，木村 稔（中央水試），吉水 守，笠井久会（北大院水）（財）北水協会 平成18年度水産学術研究・改良補助事業報告 106-111，2007.9

超高压処理による冷凍ジラ肉の解凍硬直抑制効果：金子博実，佐藤暁之，辻 浩司，野俣 洋（釧路水試），安永玄太，藤瀬良弘，畑中 寛（日鯨研），荻原光仁，舟橋 均（共同船舶） 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，46，2007.9

短期蓄養による北海道産貝・エビ類の呈味性向上試験：辻 浩司，野俣 洋，金子博実（釧路水試） 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，59，2007.9

濃縮海洋深層水での短期蓄養によるラウスバイの呈味性変化：辻 浩司，菅原 玲，宮崎亜希子，佐藤暁之，野俣 洋（釧路水試），渡邊 徹，山石秀樹（羅臼町），菊池八起，石亀正則（羅臼漁協），湊屋 稔（らうす海洋深層水） 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，59，2007.9

アルギン酸オリゴ糖修飾したシロザケ筋肉タンパク質の安定性：武田浩郁（釧路水試），岡田 晃，大下敏夫（北海道三井化学），岸村栄毅，佐伯宏樹（北大院水） 平成19年度日本水産学会秋季大会講演要旨集，177，2007.9

海洋深層水を用いた貝類等の短期蓄養技術の開発に関する基礎試験－I：菅原 玲，辻 浩司，宮崎亜希子，金子博実，佐藤暁之，野俣 洋（釧路水試）他 第11回海洋深層水利用学会全国大会講演要旨集，17，2007.10

濃縮海洋深層水での短期蓄養によるホタテガイの呈味性変化：菅原 玲，辻 浩司，佐藤暁之，野俣 洋（釧路水試）他 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，82，2008.3

道東沿岸で混獲されるキヒトデ *Asterias amurensis* とニッポンヒトデ *Distolasterias nipon* の原料特性：麻生真悟，宮崎亜希子，北川雅彦，飯田訓之（釧路水試） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，82，2008.3

塩水ウニ製造工程の衛生的調査と流通時の品質保持について：三上加奈子，木村 稔（中央水試），笠井久会，吉水守（北大院水） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集，101，2008.3

石狩湾系ニシンの栄養状態と卵質：福士暁彦，小玉裕幸（中央水試），伊藤慎悟，高柳志朗（稚内水試） 平成20年度日本水産学会春季大会講演要旨集 122，2008.3

サイレージ貯蔵条件による貯蔵中のオリゴ糖等生成技術の開発：小玉裕幸，福士暁彦（中央水試） 平成19年度水産バイオマスの資源化技術開発委託事業報告書 61-65，2008.3